

「退屈な時間」 or 「成長のチャンス」

西幅 孝弘

保護者の方から二つのお声をいただいています。

一つ目は、だらだらと過ごしてしまいゲームばかりになりがちという声、もう一つは、自分で計画を立てさせて応援していくことで、充実しているという声です。

この期間を子どもたちの成長のチャンスととらえ、以下の取組について支援をお願いします。子どもたちは自分で計画を立てて取り組み、やり遂げることで自立心と計画性、そして充実感を得ることができます。生活や学習を自分でデザインする力は、中学校に行っても必ず役に立ちます。この時期を子どもの成長のプラスにしたいです。

お子さんと相談し、話し合い、お子さんの考えを生かしながら試みてください。きっと主体性も高まります。スタートはハードルを低くして「できた実感」「続けた実感」を大切にしましょう。

【ヒントとして】

- ① 生活の中で、お子さんが自分の時間割を計画するトレーニングとして考えてください。
- ② 1日のメニューづくり、1～2週間の大まかな目標づくりなどが大切です。
- ③ 得意なことや、少し苦手なこともメニューに入れてみましょう。
- ④ 工作や音楽、運動、読書、休み時間や遊びも入れることで継続することを重視してください。
- ⑤ その日のメニューができたかどうか必ず評価してあげてください。
- ⑥ できていたら、しっかりと認めてあげてください。自信がつき、充実感も味わえます。
- ⑦ 1週間の評価もしてあげることがさらに自信と意欲につながります。
- ⑧ 作品・ノート・ドリルなどの成果を残し、積み重ねた足跡を確認できるようにしておくことが自信につながります。
- ⑨ この機会に読書を楽しむ習慣を形成するために、おうちの方が子どもに本をプレゼントしてみましょう。楽しくやさしい本からスタートです。
- ⑩ この期間を健康で乗り切ること、そのための行動も子ども自身に考えさせてみてください。健康・安全への意識も高まります。